

令和5年度 ごみステーション美化活動等に関する表彰対象者

	区名	表彰団体 表彰者	活動内容	審査写真
団体	花見川区	幕張町二丁目町内会	町内会全体で協力し、ごみステーションの左右に開閉式の扉を設けるほか、カラスネットを両側から開閉できるよう整備を行い、カラス被害の対策を行っている。また、毎月実施の町内会組長会議において、環境部により定例報告を行うとともに、環境部委員会だよりを回覧し周知を行っている。	
	稲毛区	天台ともしび自治会	自治会役員6名で29か所の役割分担を設定し、収集車による回収後にごみの取り残しの状況や防鳥ネットの破損状況の確認及び対策を行っている。また、ごみステーションの利用者に対して注意喚起を促すため、自治会独自で張り紙を作成し啓発を行っている。	
	若葉区	千城台西県住自治会	町内自治会内のごみステーションの巡回を行うほか、ごみ収集の終了後にごみステーションの清掃を行っている。また、毎月ごみステーションを含めた地域清掃を実施しており、毎回150袋程度のごみを集め、ごみステーション及び地域の環境美化に努めている。	
	緑区	高田奈木台自治会	自治会独自で木製のごみ集積箱を作成・設置し、カラスによるごみの散乱被害の防止をしている。また、ごみステーションの巡回やごみ出しに関する留意事項をごみステーションへの掲示など、町民へ排出ルールの啓発を行っている。	
個人	中央区	大越 芳男	当該地区では大型のごみステーションの設置が困難であることから、40グループにごみステーションを細分化しており、そのグループ全体の統括を行っている。また、14年間にわたって廃棄物適正化推進員として巡回や指導を行い、ごみステーションの美化に貢献してきた。	